



LIXIL

屋外カメラ用配線カバー

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>


注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 前もって設置場所の確認を行なってください。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が製品に直接あたる場所に設置しないでください。


ポイント

- 施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>


注意

- ボルト、ねじは当社指定品を指定本数使用し、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 <推奨トルク>
 φ4ねじ : 2.5N・m±0.5 (25±5kgf・cm)
 M8ボルト : 20N・m±0.5N・m (200±5kgf・cm)
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。

<施工上のご注意 つづき>

ポイント

- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。

<電気配線工事について>

注意

- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
- 通電状態で施工しないでください。故障・感電のおそれがあります。
- 取付けの際は、安全のためブレーカを切ってください。通電状態で行なうと感電のおそれがあります。
- DC12V仕様は、DC12V以外では使用しないでください。過電圧を加えると火災・感電のおそれがあります。

ポイント

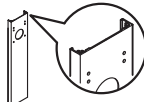
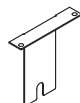
- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
- 施工作業中は通電させないでください。故障・感電の原因になります。
- 別売りの当社製トランス電源ユニット、またはACアダプター7Wと組み合わせて使用してください。（DC12V仕様）
当社以外の製品を使用すると、作動不良を起こす場合があります。

■梱包明細表

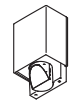
補足

- AC100V 屋外カメラの梱包明細は屋外カメラの取付説明書(Z574)をご確認ください。

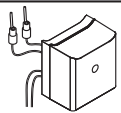
[1] 屋外カメラ用配線カバー

名 称	略 図	員数
配線カバー		1
配線カバーキャップ		1
フレキカバー		1
【1-1】φ4×16トラスタッピンねじ3種 D=8		4
【1-2】φ4×15ナベタッピンねじ2種 G=3		2
【1-3】φ4×25サラタッピンねじ1種 D=6		4
【1-4】φ4×16ナベドリルねじ D=8		4
取付説明書<Z576>	—	1

[2] DC12V スマート見守りカメラ

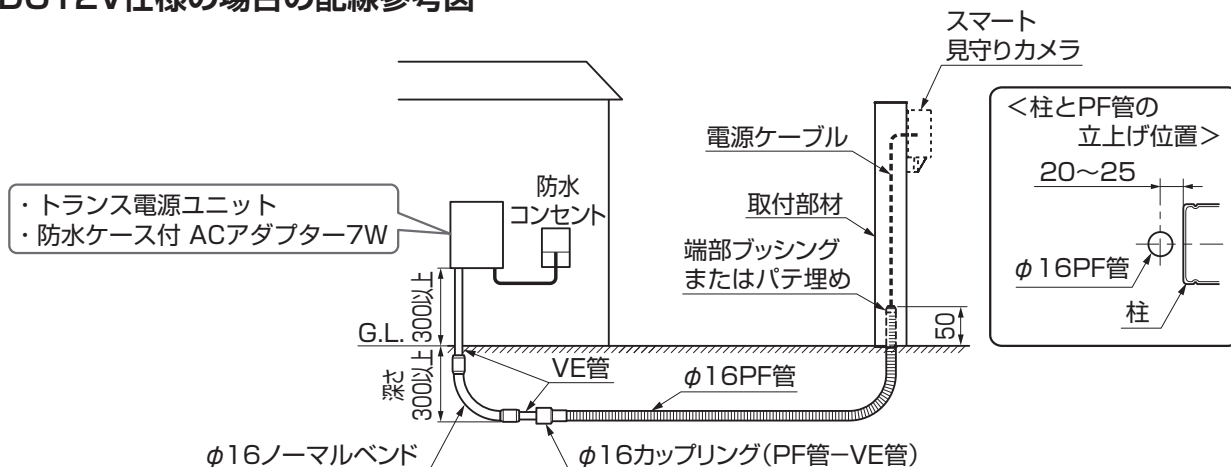
名 称	略 図	員数
カメラ本体		1
【2-1】φ4×20ナベタッピンねじ2種		4
[3] 照明取付部品セット		
名 称	略 図	員数
【3-1】M8×140 六角ボルト		1
【3-2】M8 平座金		2
【3-3】M8 バネ座金		2
【3-4】M8 袋ナット		1
歪み防止パイプ		1

[4] AC100V 屋外カメラ用照明

名 称	略 図	員数
照明本体		1
【4-1】φ4×16トラスタッピンねじ3種 D=8		2
【4-2】φ4×10サラPタイトねじ		2

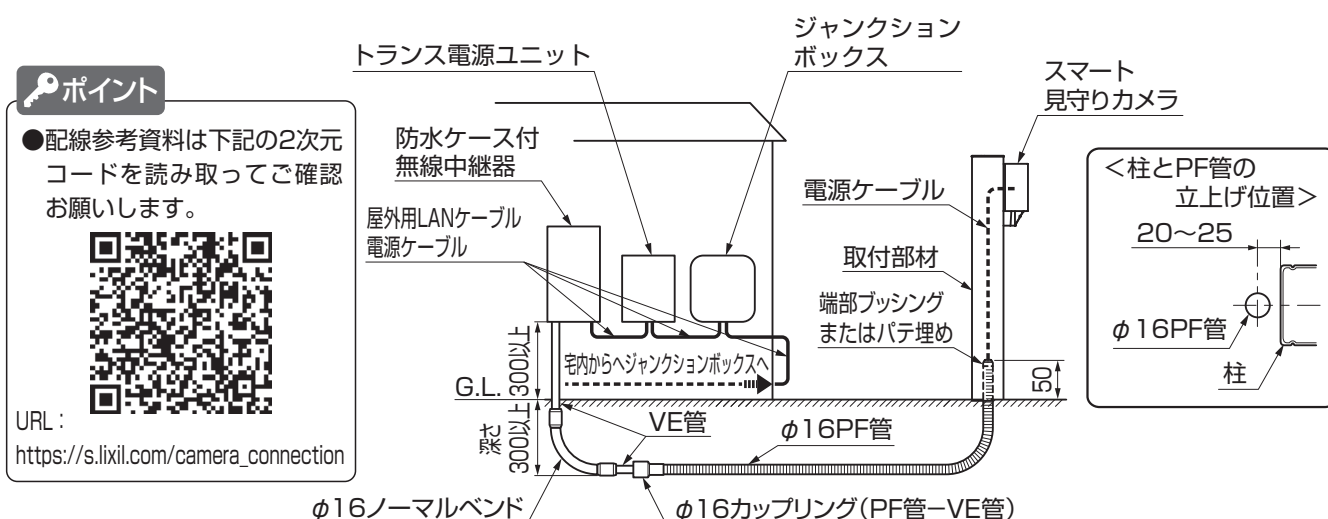
1. 配線と基礎工事

●DC12V仕様の場合の配線参考図



①柱埋設位置に電源ケーブルを通した埋設管を立ち上げてください。

●DC12V 無線中継器 屋外仕様の場合の配線参考図



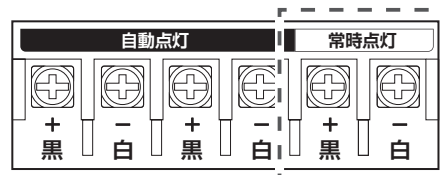
①柱埋設位置に電源ケーブルを通した埋設管を立ち上げてください。

ポイント

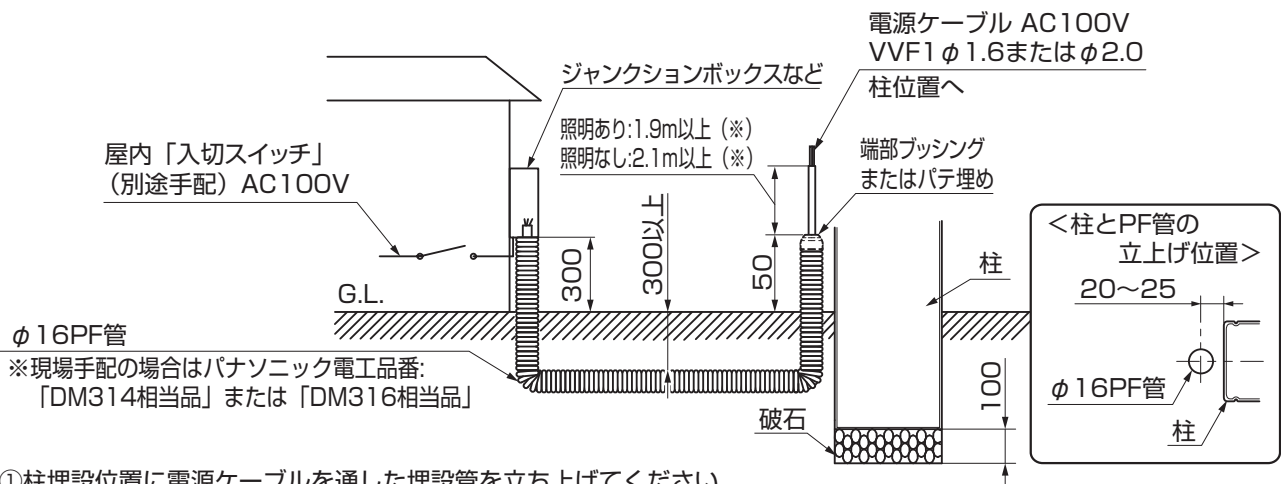
- 屋外に無線中継器を設置する場合は、中継器と宅内ルーターは屋外用LANケーブルでの接続を推奨します。無線中継器の背面の切り替えスイッチを「有線」に変えてください。※CAT5以上の屋外用LANケーブルを現場手配してください。
- ACアダプター7Wを使用する場合は、スマート見守りカメラ1台の接続までです。無線中継器や複数台と接続する場合は35W以上のトランス電源ユニットを使用してください。
- 無線中継器 屋外仕様の場合は、35W以上のトランス電源を選定してください。
- トランス電源ユニットを使ってカメラを配線する際は、「常時点灯」ラインに接続してください。

※詳細はトランス電源ユニットの施工説明書を参考にしてください。

- 電源ケーブルはPF管より地中に埋設して配線してください。
- 地中配管の場合、車両その他の重量物の圧力を受けるおそれのある場所においては深さ600mm以上にしてください。
- 無線中継器 屋外仕様、トランス電源側の配管は、G.L.より300mm以上必ず立ち上げてください。
- PF管は水が侵入しないようにブッシング等で養生してください。※P.4<端子ブッシングの取付け>参照
- 電源ケーブルの寸法はフーゴR標準柱(H22)(ロング柱(H25):+300、H28柱(H28):+600)の場合です。こちらを目安とし、現場の状況に合わせて調整してください。(※)



●AC100V仕様の場合の配線参考図

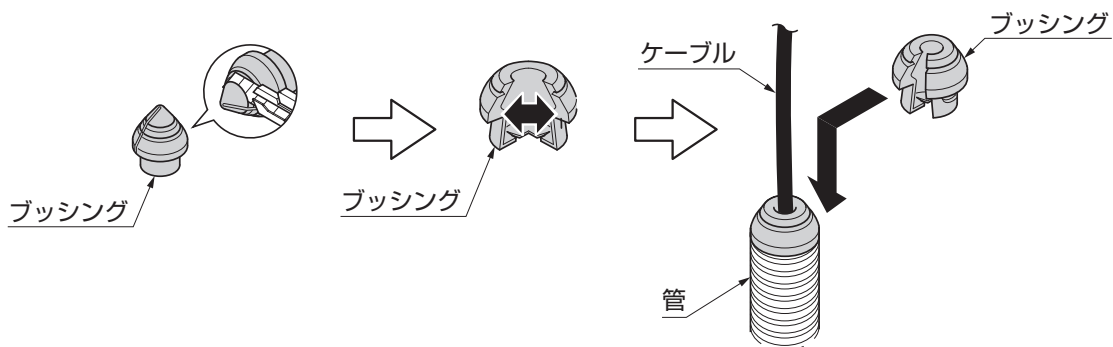


①柱埋設位置に電源ケーブルを通した埋設管を立ち上げてください。

ポイント

- 電源ケーブルはPF管より地中に埋設して配線してください。
- 地中配管の場合、車両その他の重量物の圧力を受けるおそれのある場所においては深さ600mm以上にしてください。
- 無線中継器 屋外仕様、トランス電源側の配管は、G.L.より300mm以上必ず立ち上げてください。
- PF管は水が侵入しないようにブッシング等で養生してください。※下記<端部ブッシングの取付け>参照
- 電源ケーブルの寸法はフーゴR標準柱(H22)(ロング柱(H25):+300、H28柱(H28):+600)の場合です。こちらを目安とし、現場の状況に合わせて調整してください。(※)

<端部ブッシングの取付け>



- ①ケーブル径に合わせブッシングの先端を切断します。
- ②ブッシングの縦溝を切り込み、半割れにします。
- ③ブッシングをケーブルにはさみ、管に差し込みます。

ポイント

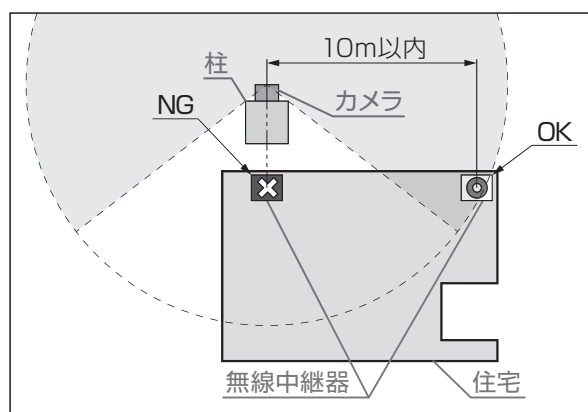
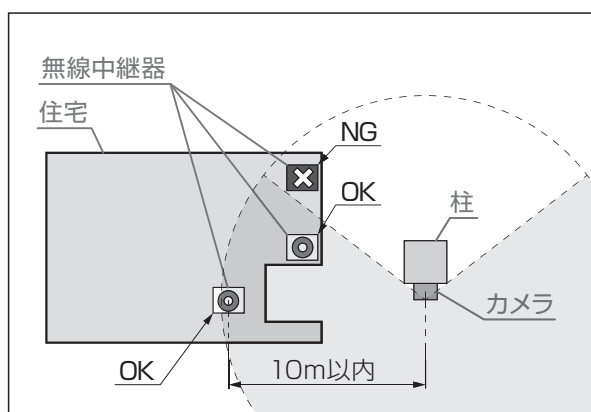
- ブッシングとケーブルのすき間はビニルテープで防水処理をしてください。

●無線中継器配置参考図 ※実際の電波状況により結果は異なりますので、現場調整をお願いします。

▼ 屋内配置の場合 ▼

🔑ポイント

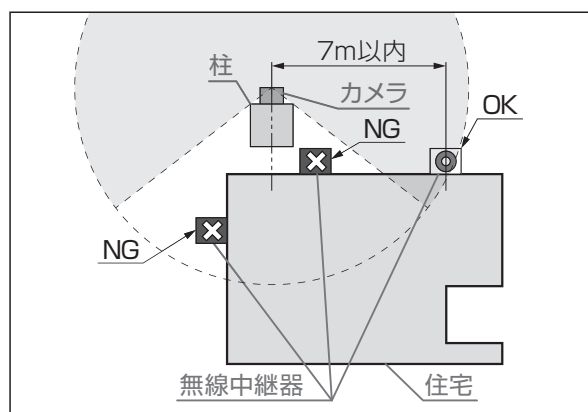
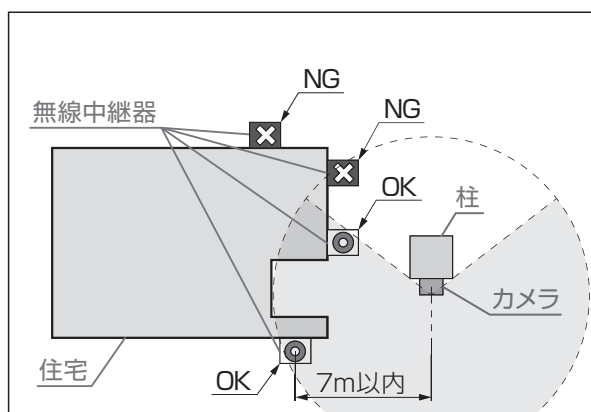
- スマート見守りカメラと無線中継器の距離は直線10m以内にしてください。
- スマート見守りカメラと無線中継器の間が柱や、浴槽エリアで遮蔽されない位置にしてください。
- 玄関扉の近く、または窓近辺に配置してください。
- 無線中継器は、宅内ルーターとの間が金属製品や浴槽エリアで遮蔽されない位置にしてください。
- 無線中継器はG.L.より800mm以上の高さに配置することを推奨。



▼ 屋外配置の場合 (LANケーブル接続を推奨) ▼

🔑ポイント

- スマート見守りカメラと無線中継器の距離は直線7m以内にしてください。
- スマート見守りカメラと無線中継器の間が柱や金属製品で遮蔽されない位置にしてください。
- 壁への取付前に、スマート見守りカメラと無線中継器の通信設定を行うことを推奨。



🔑ポイント

- 配置参考資料は右記の2次元コードを読み取ってご確認をお願いします。

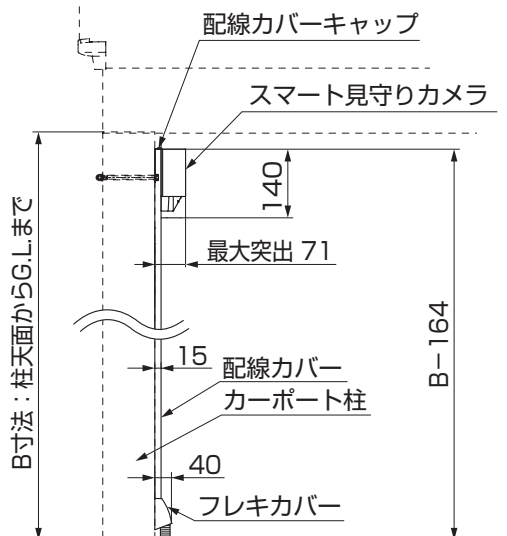
URL : https://s.lixil.com/camera_position



2-1 つづき

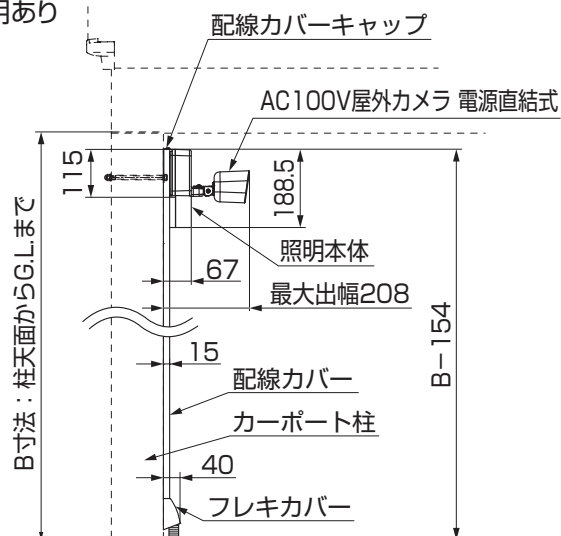
Fスタイル 3台用の場合

【DC12V スマート見守りカメラ】

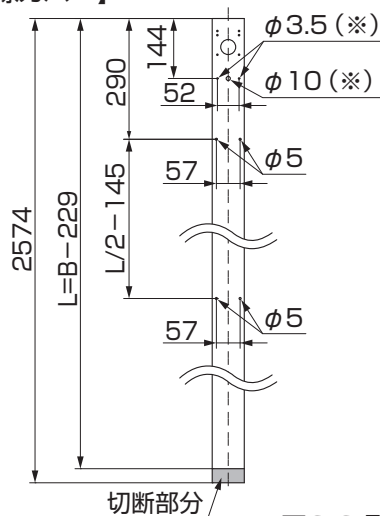


【AC100V屋外カメラ】

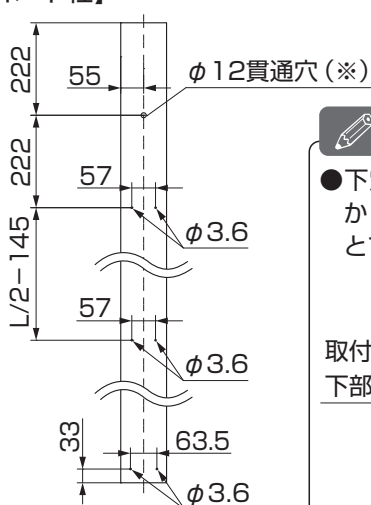
①照明あり



【配線カバー】



【カーポート柱】



補足

- 下穴加工した配線カバーをG.L.から75mm浮かせて当てることで位置決めができます。

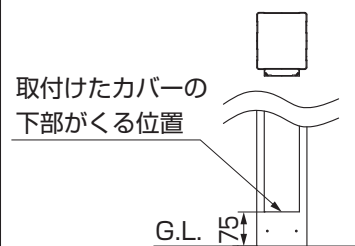


図2-2 取付け前加工図

2-2 取付け前の下準備

ポイント

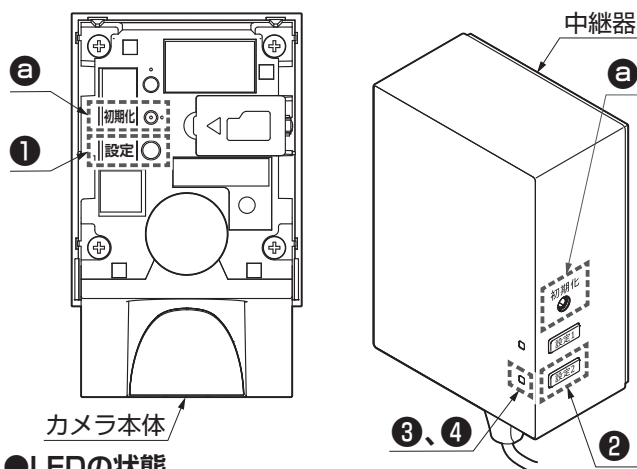
- 部材の加工を行なう際は「2-1 基本寸法と各部の名称」を参照して行なってください。

- ①ブラケットがある場合、カーポート柱のブラケット取付ボルトからG.L.までの寸法を確認し、図2-1を参考に配線カバーを切断してください。
フーゴFスタイル 3台用の場合、柱天面からG.L.までの寸法を確認し、図2-2を参考に配線カバーを切断してください。
- ②カーポート柱にφ3.6の穴加工をしてください。Fスタイル 3台用の場合、φ12の貫通穴を加工する必要があります。(※参照)
- ③配線カバーにφ5の穴加工をしてください。
- ④【AC100V屋外カメラ】照明本体を取付ける場合は、配線カバーにφ3.5とφ10の穴加工をしてください。(※参照)

ポイント

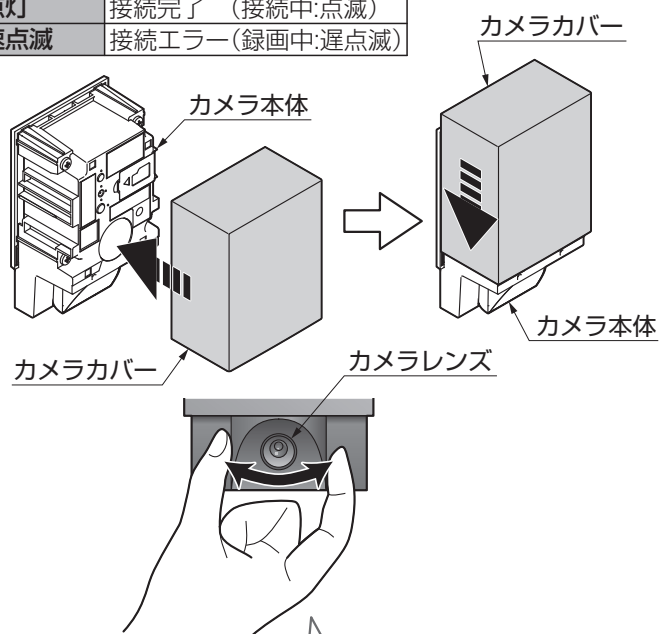
- 取付けるボルトの高さ・位置を間違えると取付けできないことがあります。

[illegible]



●LEDの状態

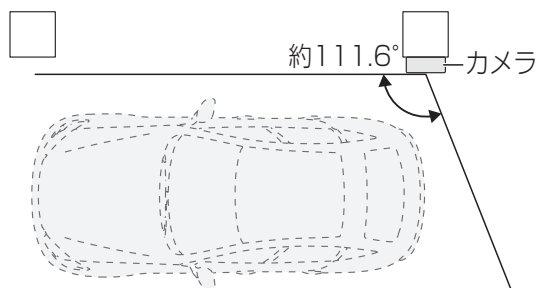
オレンジ点灯	接続可 (設定中:点滅)
緑点灯	接続完了 (接続中:点滅)
赤速点滅	接続エラー (録画中:遅点滅)



例) カメラユニット正面
(角度0°)



例) カメラユニット左向き
(角度35°)



- カーポート全体が入るようにカメラレンズを左右に動かして調整してください。
- 施主様に、アプリでカメラを登録後、画像を見ながらカメラレンズの画角を調整するように伝えてください。

⑧中継器がある場合、カメラと中継器を無線接続してください。

※中継器がなければ設定不要です。

- 1 カメラと中継器の電源を入れて、カメラ本体の「設定」ボタンを5秒以上押す。
- 2 ピー音とLEDがオレンジに点滅したら、5分以内に中継器の「設定2」ボタンを5秒以上押す。
- 3 中継器の設定2のLEDがオレンジに点滅したら最大3分待つ。
- 4 カメラのLEDと、中継器の「設定2のLED」が緑点灯になれば接続完了。(カメラからはピー音が鳴ります)

補足

- 中継器の「設定1」は宅内ルーターとの接続ボタンです。「設定1のLED」はオレンジの状態で引き渡してください。
- 詳細な設定手順は右記の2次元コードを読み取ってご確認をお願いします。



URL: https://s.lixil.com/camera_set_repeater

▼カメラ、もしくは中継器のLEDが赤速点滅になった場合▼

※中継器とカメラの電波環境問題により接続ができませんでした。

- a カメラ、中継器の「初期化ボタン」を5秒以上押ししてリセットする。
- b 中継器をカメラに近づける、または中継器とカメラの直線上に遮蔽物がない場所に中継器を移動する。
- c 再度、①から設定をおこなう。

⑨カメラ本体にカメラカバーを取り付けてください。

補足

- SDカードが準備されている場合は、カメラの取扱説明書を参照して挿入してください。

⑩カメラレンズの画角を調整し、レンズの保護シートをはがしてください。

補足

- 施工後は、カメラと中継器の取扱説明書、保証書、登録用QRシール等を施主様にお渡しください。

配線カバーの取付手順

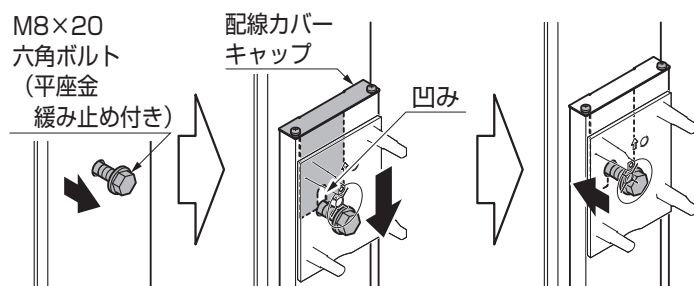


図3-1 ブラケットがある場合

- ⑪・ブラケットがある場合、カーポート柱の六角ボルトを緩め、配線カバーキャップの凹みをはさんで固定してください。（図3-1参照）
- ・Fスタイル 3台用の場合、【3-1】で配線カバーキャップの凹みをはさんで固定してください。（図3-2参照）

- ⑫配線カバーの上部と中間部をカーポート柱に【1-3】で固定してください。

ポイント

- ケーブルを配線カバーに挟まないでください。

- ⑬配線カバーにφ3.5の下穴をあけてフレキカバーを配線カバーに【1-4】で取付けてください。

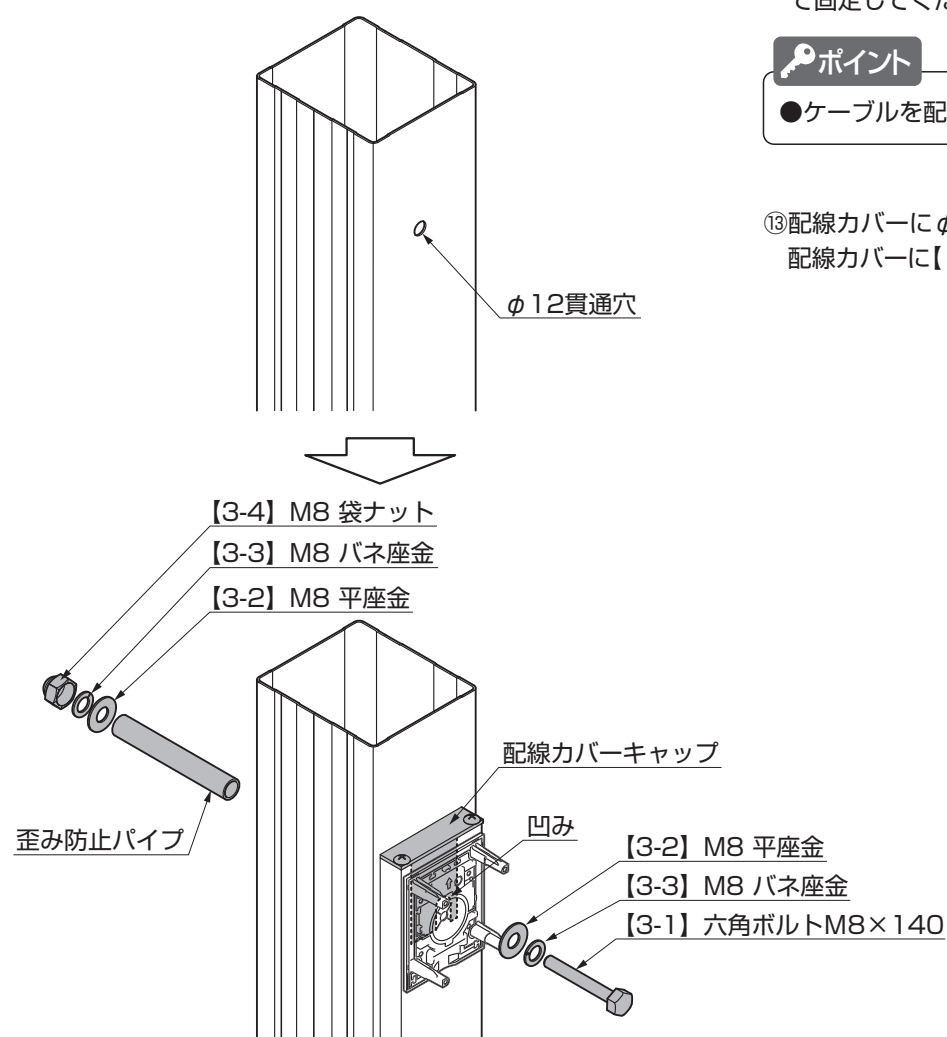
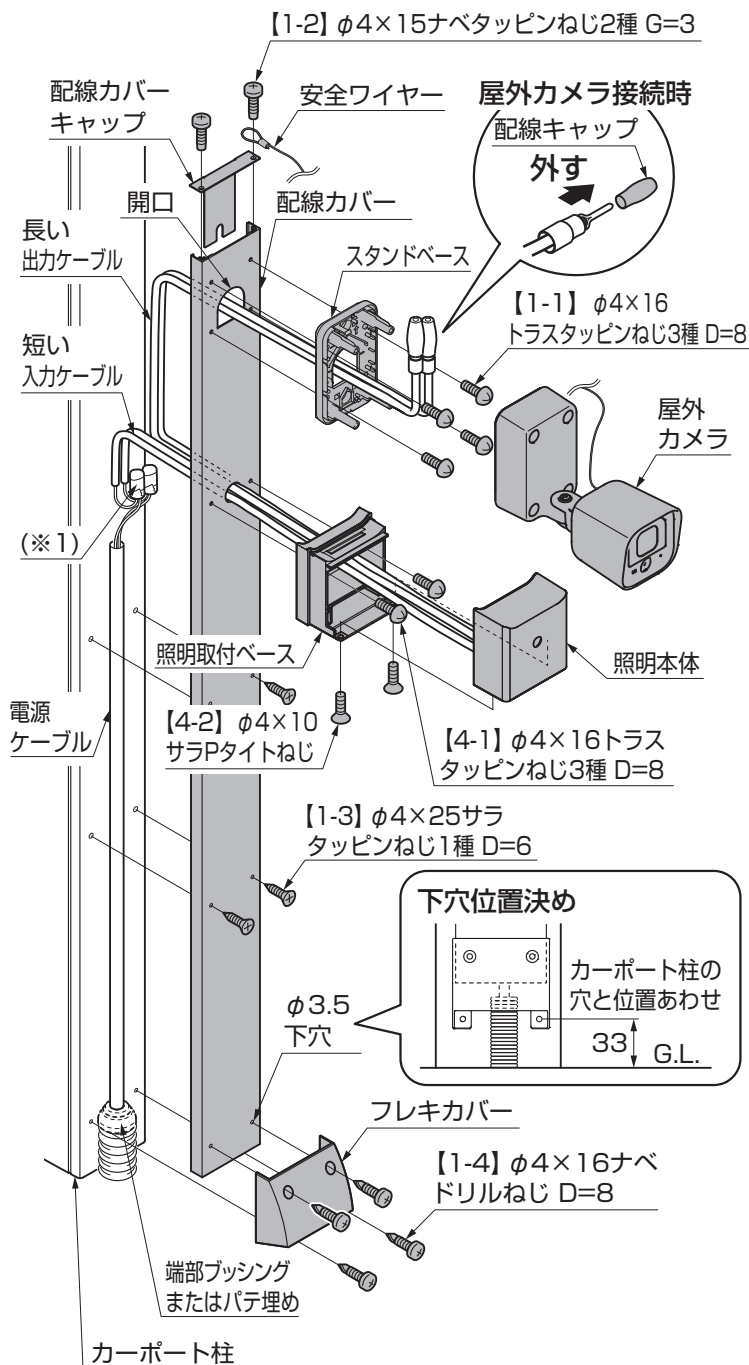


図3-2 フーゴFスタイル 3台用の場合

●AC100 屋外カメラ

補足

- 屋外カメラの取付け、配線や調整方法、ホームユニットへの登録方法については屋外カメラの取付説明書 (Z574) を参照してください。



- ①スタンドベースを配線カバーに【1-1】で取付けてください。

ポイント

- スタンドベースは「上」の表示が上になるように取付けてください。

- ②照明取付ベースを配線カバーに【4-1】で取付けてください。(照明を取付ける場合のみ)
- ③電源ケーブルと照明本体から出ている短い方の入力ケーブルを結線して、自己融着テープ等で防水テーピングを施してください。(照明を取付ける場合のみ) (※1)

ポイント

- 照明本体のケーブルは配線カバーの配線穴(φ10)に通してください。
- 屋外カメラに接続する長い方の出力ケーブルを配線カバーの開口に通しておいてください。
- 照明を使用しないときは、電源ケーブルを配線カバーの開口に通しておいてください。
- 閉端接続子は上向きに取り付けてください。下向きに取り付けると、水滴などにより短絡するおそれがあります。(照明を取付ける場合のみ) (※1)

- ④照明本体と照明取付ベースを【4-2】で下から固定してください。(照明を取付ける場合のみ)

推奨トルク：

$1.0\text{N} \cdot \text{m} \pm 0.3\text{N} \cdot \text{m}$ ($10 \pm 30\text{kgf} \cdot \text{cm}$)

- ⑤配線カバーキャップを配線カバーに【1-2】で取付けてください。

ポイント

- 配線カバーキャップを取付ける際に、屋外カメラに同梱されている安全ワイヤーの端部も共締めしてください。

配線カバーの取付手順

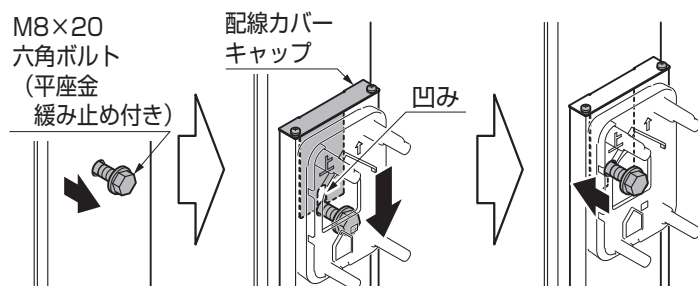


図3-3 ブラケットがある場合

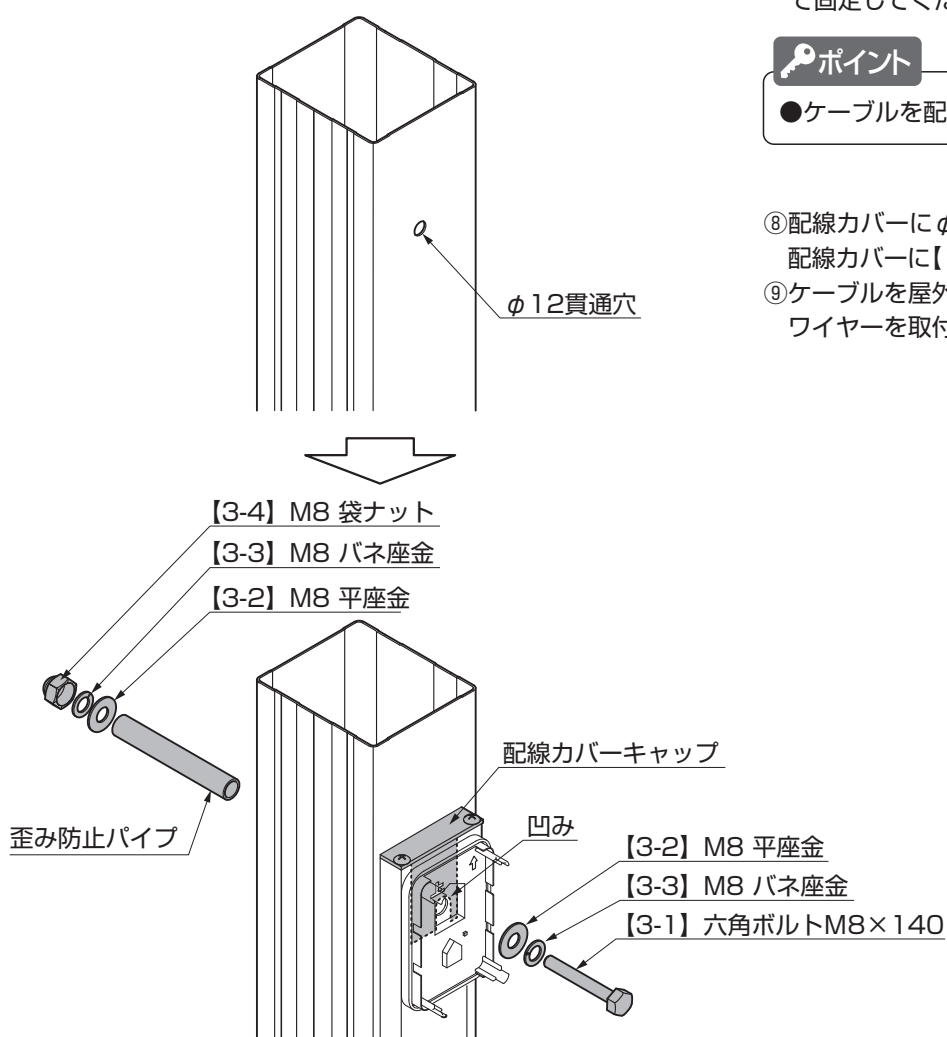


図3-4 フーゴFスタイル 3台用の場合

- ⑥・ブラケットがある場合、カーポート柱の六角ボルトを緩め、配線カバーキャップの凹みをはさんで固定してください。（図3-3参照）
- ・Fスタイル 3台用の場合、【3-1】で配線カバーキャップの凹みをはさんで固定してください。（図3-4参照）

- ⑦配線カバーの上部と中間部をカーポート柱に【1-3】で固定してください。

ポイント

- ケーブルを配線カバーに挟まないでください。

- ⑧配線カバーにφ3.5の下穴をあけてフレキカバーを配線カバーに【1-4】で取付けてください。
- ⑨ケーブルを屋外カメラに接続し、屋外カメラ、安全ワイヤーを取付けてください。

取説コード

Z576

JZZ631211B
201604A_1049
202606C_1049